令和7年度事業計画

信楽高原鐵道 株式会社

1 基 本 方 針

昭和62年7月に第三セクター鉄道として開業し、また、平成25年度からは公有民営方式への変更により、列車の運行のみを行う第二種鉄道事業者へと移行した。その後、台風災害に伴う長期運休やコロナ禍に伴う輸送人員の激減などを経験しながらも、地域の公共交通機関としての役割を果たしてきたところである。また、平成25年度から開始した鉄道事業再構築実施計画は、令和4年度で計画期間が終了したが、令和6年2月には、新たな鉄道事業再構築実施計画の認定を受けることができた。

当社は、今後においても引き続き、第三種鉄道事業者である甲賀市と連携しながら、安全で安定した運行により、地域の暮らしや産業を支える公共交通機関としての役割を果たすため、さらなる運営基盤の強化を進める。今後も安定した運営を確保するため、アフターコロナの社会情勢や長期的な人口減少に対応した事業構造の確立をめざし、地域住民の利用促進と観光誘客、付帯事業の拡大による収入確保に努めるとともに、物価高騰等にも対応した効率的な事業運営に努め、全社員一丸となって経営改善を継続する。

2 事 業 計 画

(1) 鉄道事業

コロナ禍を契機とした生活様式の変容による移動需要の減少や、原油価格をはじめとする物価の高騰、長期的な沿線人口の減少等、厳しい経営環境が続いているが、引き続き、地域住民の利用をさらに促進していくほか、新たな観光商品・企画商品の開発、営業活動等をより積極的に展開し、新規需要の創出に取り組む。特に令和7年度は、団体貸切列車への誘客、新しいグッズの開発等を行うほか、バスと信楽高原鐵道を利用した道の駅を巡る日帰り団体旅行等、関係団体と連携した新たな鉄道関連収益事業の開発、検討を推進する。また、鉄道施設の安全確保のため、施設を所有する第三種鉄道事業者である甲賀市において、枕木や軌道道床等の線路設備の整備、線路側溝の新設等を実施する。

(2) 付帯事業

信楽駅待合所の活用、レンタサイクルの利用促進等に努める。

収 支 予 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 千円)

	科	目	本 年 度	前 年 度	比 較	備考
1 営	業 収 入		179, 705	170, 776	8, 929	
	旅客収	入	81, 153	77, 590	3, 563	
	受 託 収	入	88, 210	82, 285	5, 925	
	運輸雑収	入	10, 342	10, 901	△ 559	
2 営	業 外 収 入		1, 118	378	740	
	収 入 合	計	180, 823	171, 154	9, 669	
1 営	業費用		173, 540	164, 051	9, 489	
	人 件	費	92, 564	90, 735	1, 829	
	修繕	費	39, 690	33, 452	6, 238	
	動力	費	9, 600	9, 600	_	
	経	費	26, 933	24, 912	2, 021	
	諸	税	2, 957	2, 900	57	
	減 価 償 却	費	1, 796	2, 452	△ 656	
2 営	業外費用		6, 974	6, 075	899	
	費用合	計	180, 514	170, 126	10, 388	
	経常損	益	309	1,028	△ 719	
	税 引 前 損	益	309	1, 028	△ 719	

令和6年度事業報告

信楽高原鐵道 株式会社

1 事 業 概 要

当社は第三セクター鉄道として、安全で安定した地域公共交通の確保および利用者の拡大に努めてきたが、 経営安定化を図るために、平成25年4月1日に公有民営方式に移行し、鉄道施設等の保有と運行の双方を行う 第一種鉄道事業者から、鉄道施設等を保有する甲賀市より貸与を受けて列車の運行のみを行う第二種鉄道事業 者に転換した。

令和6年度においても、安全・安定運行を第一に、第三種鉄道事業者である甲賀市との連携のもと、施設整備を着実に行ったほか、観光誘客を含む利用促進の取組を強力に展開した。

2 事 業 実 績

(1) 鉄道事業

ア 旅客輸送事業

(7) 輸送人員

328,634 人(うち定期 221,040人、定期外 107,594人) 前年度と比べ、 4.7% (16,324人) 減となった。

(4) 旅客輸送収入

74,372千円 (うち定期35,048千円、定期外39,324千円) 前年度と比べ、 1.9% (1,452千円) 減となった。

イ 誘客事業

地元利用客および観光客の利用増加を図るため、以下の事業を行った。

- (ア) オリジナルヘッドマーク列車の運行
- (イ) 信楽高原鐵道利用促進協議会との連携による「陶製干支切符」の販売
- (ウ) 近江鉄道株式会社との連携による「びわこ京阪奈線フリーきっぷ」の販売
- (エ) 西日本旅客鉄道株式会社・伊賀鉄道株式会社との連携による「お茶と忍びの里まるごと満喫パス」の 販売
- (オ) スマートフォンアプリを利用した乗車券・定期乗車券の販売
- (カ) サンタ列車の運行
- (キ) ひな祭り列車の運行
- (ク) 修景事業として、うしかい田んぼアート実行委員会との連携による田んぼアート
- (ケ) 信楽高原鐵道文化祭の開催
- (3) 甲賀市市制20周年記念事業として、写真展の開催および市内鉄道全駅記念硬券の販売

(2) 付帯事業

ア 駅構内店舗の賃貸事業

イ レンタサイクル事業

損 益 計 算 書

自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目		本	年	度	前	年	度	比	較		
鉄	道事	業									
		業 収	益		159, 1	129, 501		169,	362, 752	\triangle	10, 233, 251
	営	業	費		170, 2	296, 287		166,	388, 393		3, 907, 894
	営	業 利	益	Δ	11, 1	166, 786		2,	974, 359	Δ	14, 141, 145
付	帯事	業									
	営	業 収	益		4, 8	832, 012		4,	682, 475		149, 537
	営	業	費		1, 1	180, 051		1,	407, 340	\triangle	227, 289
	営	業 利	益		3, 6	651, 961		3,	275, 135		376, 826
全	事 業	営業	利 益	Δ	7, 5	514, 825		6,	249, 494	Δ	13, 764, 319
	営業		収 益								
	受		利 息			46, 423			2, 324		44, 099
	そ	の他の	収 益		1, 7	723, 861		6,	843, 754	\triangle	5, 119, 893
		営業外			1, 7	770, 284		6,	846, 078	\triangle	5, 075, 794
	営 業		費用								
		の他の			6, 8	886, 544		11,	567, 971	Δ	4, 681, 427
		営業外	費用計		6, 8	886, 544		11,	567, 971	\triangle	4, 681, 427
経	常	利		\triangle	12, 6	631, 085		1,	527, 601	\triangle	14, 158, 686
		引 利									
	補	助	金		2, 8	800, 000			_		2,800,000
		の他特別				_			9, 999	\triangle	9, 999
		特別和			2, 8	800, 000			9, 999		2, 790, 001
		引 損									
	除	却	費			208, 001			_		208, 001
			損失計			208, 001			_		208, 001
税			屯 利 益	Δ	10, (039, 086		1,	537, 600	Δ	11, 576, 686
			び事業税		3	311, 403		:	304, 648		6, 755
過		度 法	人 税			_			_		_
当	期	純	利 益	Δ	10, 3	350, 489		1,	232, 952	Δ	11, 583, 441

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

			1	(単位 円)
科目	本 年 度	前 年 度	Ŀ	Ľ 較
I資産の部				
1 流 動 資 産				
現金・預金	80, 203, 057	105, 949, 368	Δ	25, 746, 311
未収運賃	816, 090	441, 060		375, 030
未 収 金	35, 092, 690	38, 938, 920	Δ	3, 846, 230
棚 卸 商 品	1, 350, 299	1, 446, 998	Δ	96, 699
貯 蔵 品	1, 119, 084	723, 529		395, 555
その他流動資産	1, 851, 834	724, 380		1, 127, 454
流動資産合計	120, 433, 054	148, 224, 255	Δ	27, 791, 201
2 固 定 資 産				
(1)鉄道事業固定資産				
有形固定資産	3, 407, 390	2, 966, 776		440, 614
無形固定資産	580, 137	620, 137	Δ	40,000
鉄道事業固定資産合計	3, 987, 527	3, 586, 913		400, 614
(2)投 資 等				
長期前払費用	11, 187, 820	14, 654, 826	Δ	3, 467, 006
差入保証金	22, 690	22, 690		_
投 資 等 合 計	11, 210, 510	14, 677, 516	Δ	3, 467, 006
固定資産合計	15, 198, 037	18, 264, 429	Δ	3, 066, 392
3 繰 延 資 産	_	_		
資 産 合 計	135, 631, 091	166, 488, 684	Δ	30, 857, 593
Ⅱ 負 債 の 部				
1 流 動 負 債				
買掛金	4, 015, 730	9, 624, 548	Δ	5, 608, 818
未 払 金	1, 452, 285	1, 530, 740	Δ	78, 455
未 払 法 人 税 等	1, 629, 600	1, 693, 500	Δ	63, 900
未 払 費 用	5, 801, 599	16, 578, 215	Δ	10, 776, 616
預り連絡運賃	256, 380	492, 210	Δ	235, 830
預 り 金	904, 166	1, 173, 241	Δ	269, 075
前 受 運 賃	1, 977, 420	1, 717, 800		259, 620
未 払 消 費 税	1, 960, 000	3, 109, 600	Δ	1, 149, 600
その他流動負債	_	17, 430	\triangle	17, 430
流動負債合計	17, 997, 180	35, 937, 284	Δ	17, 940, 104
2 固 定 負 債				
退職給付引当金	4, 618, 500	7, 185, 500	Δ	2, 567, 000
固定負債合計	4, 618, 500	7, 185, 500	Δ	2, 567, 000
負 債 合 計	22, 615, 680	43, 122, 784	Δ	20, 507, 104
T				

科	目	本	年	度	前	年	度	比	較
Ⅲ 純資産 <i>の</i>	部								
1 株 主	資 本								
資	本 金		432	, 000, 000		432	, 000, 000		_
利 益	剰 余 金	\triangle	318	, 984, 589	\triangle	308	, 634, 100	Δ	10, 350, 489
純資	至 合 計		113	, 015, 411		123	, 365, 900	Δ	10, 350, 489
負債・純	資產合計		135	, 631, 091		166	, 488, 684	Δ	30, 857, 593